

ふらっぷ

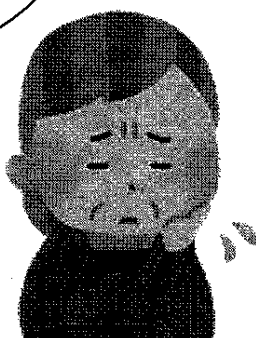
第13号

発行日：平成27年10月21日

発行：宇都宮市青少年自立支援センター

就職活動をする気もない様子だ。将来が不安であるし、早く就職してほしい。

どれくらいの間会話してないだろう。思い切って話しかけてみても返事はない。どうやって話しかけたらいいのか分からなくなってしまった……。



お子さんに関わるお悩みは……

他の人とコミュニケーションをとるのが苦手なのか、学校でも会社でも苦労しているようだ……。

会社（学校）を辞めてからずっと家にいる子が心配……。少し休んでもいいと思っていたが、いつまで家にいるのだろうか。

……抱え込まずに相談を

宇都宮市青少年自立支援センター「ふらっぷ」は、人とコミュニケーションをとることが苦手、就職したいけれども何から始めればいいのか分からないなど、自立に困難を抱える青少年の相談機関です。

昨年度は、176人の方から延べ1,109件の相談がありました。

相談者の方は、人と関わるのが苦手であったり、就職ができないなどの悩みを抱えています。ふらっぷでは、その状態に合わせて、学習支援・就労支援・就労体験などを行う機関団体と連携し、幅広い支援体制のもと、相

談者一人ひとりに合わせた支援を行っています。

保護者の方が長い期間ひとりで悩まれて、相談にいらっしゃるケースも多くあります。

悩みを抱えたご本人は、相談することが難しい場合もあります。保護者の方からの相談もお受けしていますので、悩みを抱えこまずに、一度お電話ください。ご家庭の事情にも配慮しながら、専門の知識や経験がある相談員が対応します。



青少年の悩みは「ふらっぷ」へ 相談専用電話 028-633-3715

相談事例を紹介しているふらっぷだよりのバックナンバーをホームページで公開しています。

ホームページ [ふらっぷだよりの](#)

検索

青少年の見守り

一人ひとりが できることから

インターネットの急速な普及などにより、青少年を取り巻く環境は大きく変化していますが、青少年を非行や犯罪の被害から守るためには、地域として何ができるでしょうか。

大きく変わる「環境」

我が国では、少子高齢化が急速に進行する中、家庭、学校、職場、地域などでも大きな変化が見られています。

その代表的なものとしてインターネット使用による新たな犯罪被害やトラブルがあげられています。

これらのことによって、青少年の非行と被害の両面において対応が求められてきており、国、地方公共団体、関係団体等は、それぞれの役割や責任を果たしながら、地域が一体となった青少年の非行・被害防止のための取り組みを進めることが必要となってきました。

できることから 始めよう

地域において子どもたちが様々な事件に巻き込まれることが多くなってお

り、それに対してボランティアなどによるパトロールが行われるようになりました。同時に、子どもを守るためということで、知らない人に声を掛けられたら逃げるようにとも言われるようになり、住民の声掛けが不審者によるものと勘違いされるといった悩ましい状況も出てきてしまいました。

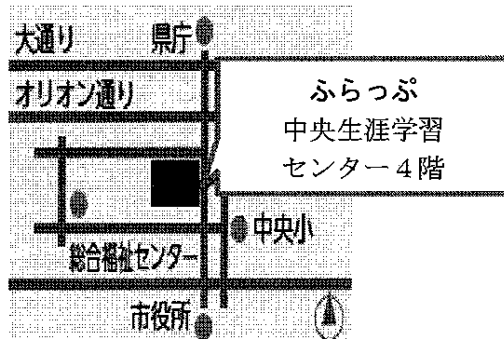
このような中、地域として何ができるのでしょうか。

本市には、主に中学校区ごとに、学校教員や地元の方たちが「青少年巡回指導員」として、公園やゲームセンターなどで青少年に声を掛け、非行や犯罪被害に遭わないよう見守りを続けています。

地域の皆さんも、日ごろからの声掛けによって子どもたちと顔見知りになり、気軽に挨拶を交わすようにしてください。このことが、犯罪や犯罪被害に遭わないための大きな力となってきます。ご協力をお願いします。

地域の皆さん一人ひとりが、子どもたちが犯罪やその被害に遭わないように何ができるかを考え、そして「できること」から始めましょう。

◆青少年の総合相談窓口「ふらっぶ」



◇相談専用電話 **028-633-3715** みない〜こ

◇相談時間 月曜～金曜 午前9時～午後5時
(但し祝休日、年末年始は除く)

※予約の上お越しくください。費用は無料。
※相談内容は厳重に管理されますので、外部に漏れることはありません。

◇所在地

中央1丁目1番13号
中央生涯学習センター4階